

出港して、27 日が経ち、とりあえず帰りたいという気持ちが正直なところですが、下船後は就職活動という現実もあります。船内生活では作業が休みのときは、十分に休養をとりますが、この時が一番幸せです。朝早くからの操業はとても辛いですが、揚げ縄の巨大なマグロを見たときにすごく感動しました。とてもいい経験ができていますと感じます。作業後の疲労感は大いですが、それぞれの実習を楽しく行っています。早く帰りたいです。

実習生 S・S

長崎を出港して 25 日経ちました。今は操業中で、どの班も一日中頑張っています。操業のほかにも当直では、色々な機器の計測をしたり、学習では指導教官から配管系統のことなど、船舶に関する様々なことを教えていただいたりしています。また、食事当番の時には、皿洗いもします。どれも大変なことばかりです。しかし、あと少しでホノルル入港なのでどんなことでも頑張れます。ホノルルで色々な食べ物を食べ、ホノルルでしか体験できないことを楽しみたいと思います。

実習生 K・A

長崎を出港して 22 日経ちました。船内生活にも慣れてとてもいい感じです。19 日から始まった操業では連日の大漁です。作業班の時には、マグロ以外に 2 メートル超のカジキを見ることができました。生きたままのカジキを見るのは初めてでしたので、とても驚きました。マグロも自分より大きいものばかりです。残り少ない操業ですが、最後まで頑張りたいと思います。

実習生 T・K

乗船前にマグロ延縄実習のことを考え、「楽しいのかな、意外と楽なのかな」と思っていました。しかし、漁ろう実習が始まると、その辛さを実感しました。朝 4 時に起き、投縄を行い、その後仮眠をとって 13 時から揚げ縄作業という作業が 4 日に 1 回のペースであります。作業班でないときに、しっかり体を休めることに専念しなければならないくらい大変です。ハワイまであと少し、頑張りたいと思います。

実習生 S・K

乗船実習は 6 月 8 日から始まり、今、操業の真っ只中です。漁ろう実習は朝早くからの投縄作業、昼から夜までの揚げ縄作業を行い、とても疲れます。早く操業が終わって、ホノルルに入港し、初めての海外を楽しみたいと思っています。

実習生 T・Y

僕は、このマグロ延縄実習で、すごくいい体験をしています。作業での枝縄の巻き方など、練習を繰り返すことで、上達することを実感しました。漁ろう実習も初めてのときは、「辛い、きつい」だけの印象でしかありませんでしたが、仲間と協力しながらやり遂げることで達成感を感じています。この後のホノルル入港がとても楽しみです。

実習生 S・S

操業で疲れた体には、どんな栄養剤よりもハワイのガイドブックのほうが、効き目があるようです。数日前から教室で配布しましたが、毎日のように見てもハワイの話ばかりしています。生徒が各実習を一生懸命頑張り、笑顔でハワイに入港できたらと思っています。

指導教官